



NISSAY

2022年度 業績の概要

2023年5月24日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ


保険料等収入


 6兆3,735億円

〔 対21年度 +18.3% / 対19年度 +11.4% 〕

- 日本生命、大樹生命およびニッセイ・ウェルス生命の一時払商品の販売増を主因に増収


基礎利益


 4,794億円

〔 対21年度 ▲43.7% / 対19年度 ▲12.6% 〕

- 新型コロナウイルス感染症関連の支払増、ヘッジコストの増加、およびニッセイ・ウェルス生命の標準責任準備金の繰入増により減益


新契約年換算保険料


 4,044億円

〔 対21年度 +2.6% / 対19年度 ▲0.7% 〕

- 日本生命は貯蓄性商品の料率改定等により減少も、ニッセイ・ウェルス生命および大樹生命の外貨建商品の販売増により対21年度で増加

保有年換算保険料


 4兆5,944億円

〔 対22年3月末 +0.5% 〕

- 日本生命は減少も、ニッセイ・ウェルス生命の増加を主因に対22年3月末で増加

2023年度業績見通し

減収・増益

- 保険料等収入は、日本生命における団体年金の減少を主因に減収
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払減を主因に増益

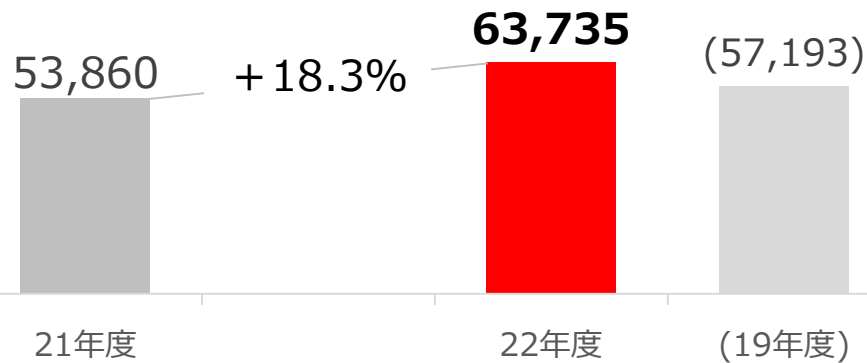
個人保険・個人年金保険
国内生命保険

グループ

② 保険料等収入・基礎利益

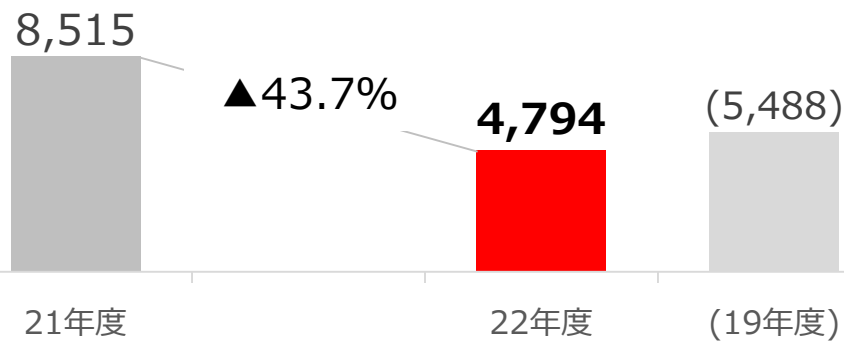
保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益

(単位：億円)



	2022年度 実績	対21年度	対19年度
保険料等収入	63,735	+18.3%	+11.4%
日本生命	46,479	+7.9%	+2.7%
大樹生命	8,848	+77.5%	+32.5%
ニッセイ・ウェルス生命	5,705	+63.0%	+84.6%
はなさく生命	222	+61.7%	+1,321.8%
MLC	2,084	+15.0%	+18.9%

	2022年度 実績	対21年度	対19年度
基礎利益	4,794	▲43.7%	▲12.6%
利差益	2,457	▲32.9%	+233.6%
保険関係損益	2,163	▲53.4%	▲54.0%
日本生命	4,988	▲35.7%	▲2.4%
大樹生命	173	▲56.3%	▲26.1%
ニッセイ・ウェルス生命	▲294	(339)*	(199)*
はなさく生命	▲246	▲30.1%	▲140.2%
MLC	68	+190.8%	(▲87)*

※合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

※はなさく生命の2019年実績は事業開始日（2019年6月24日）以降

※合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外の資産管理事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引の調整等を行い算出

※利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

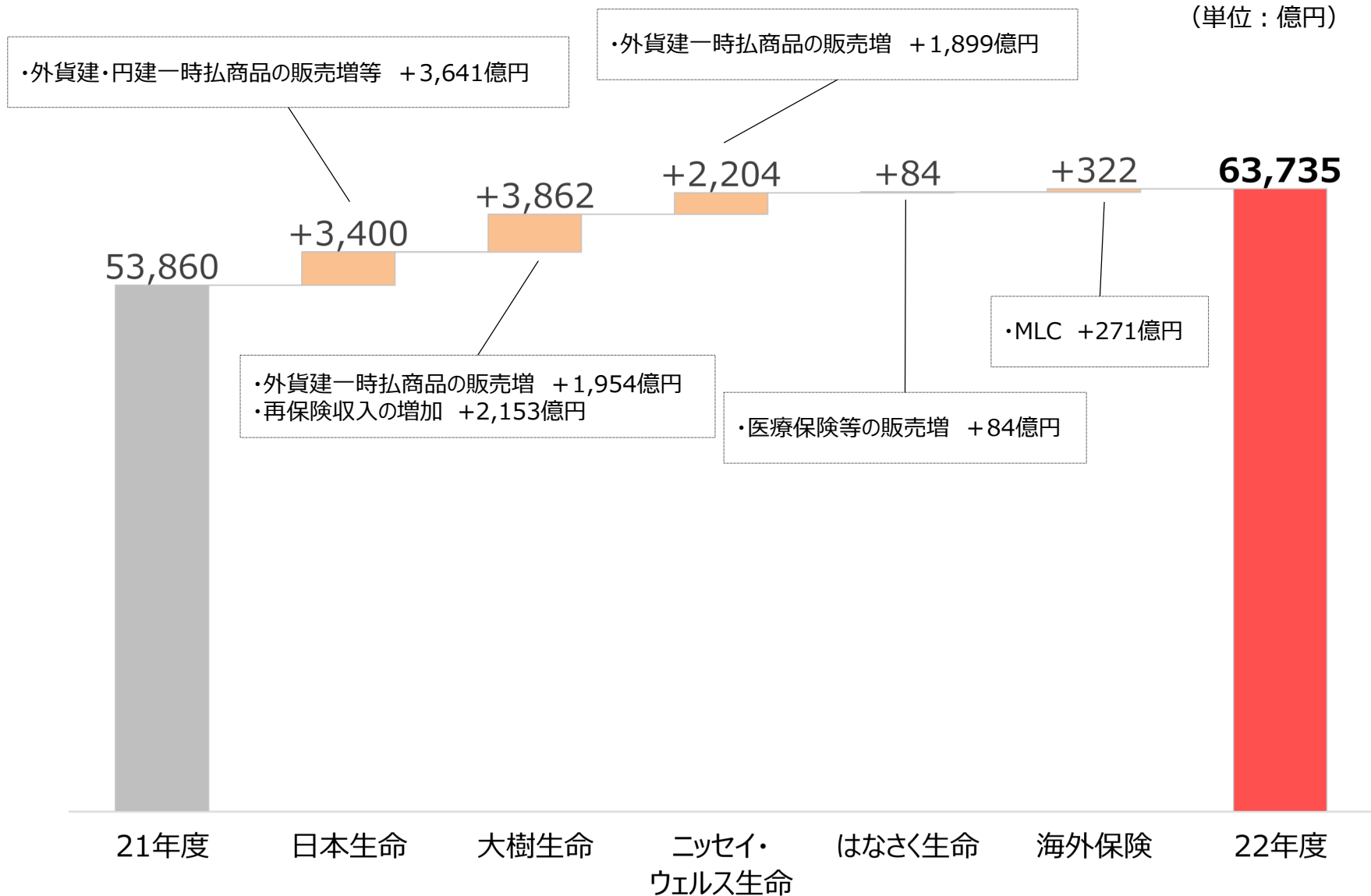
※2022年度より適用された基礎利益の計算方法に基づいて算出

※子会社の数値は、対象年度当時の持分比率に基づいて算出

* 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可。括弧内数値は各年度の実績を記載

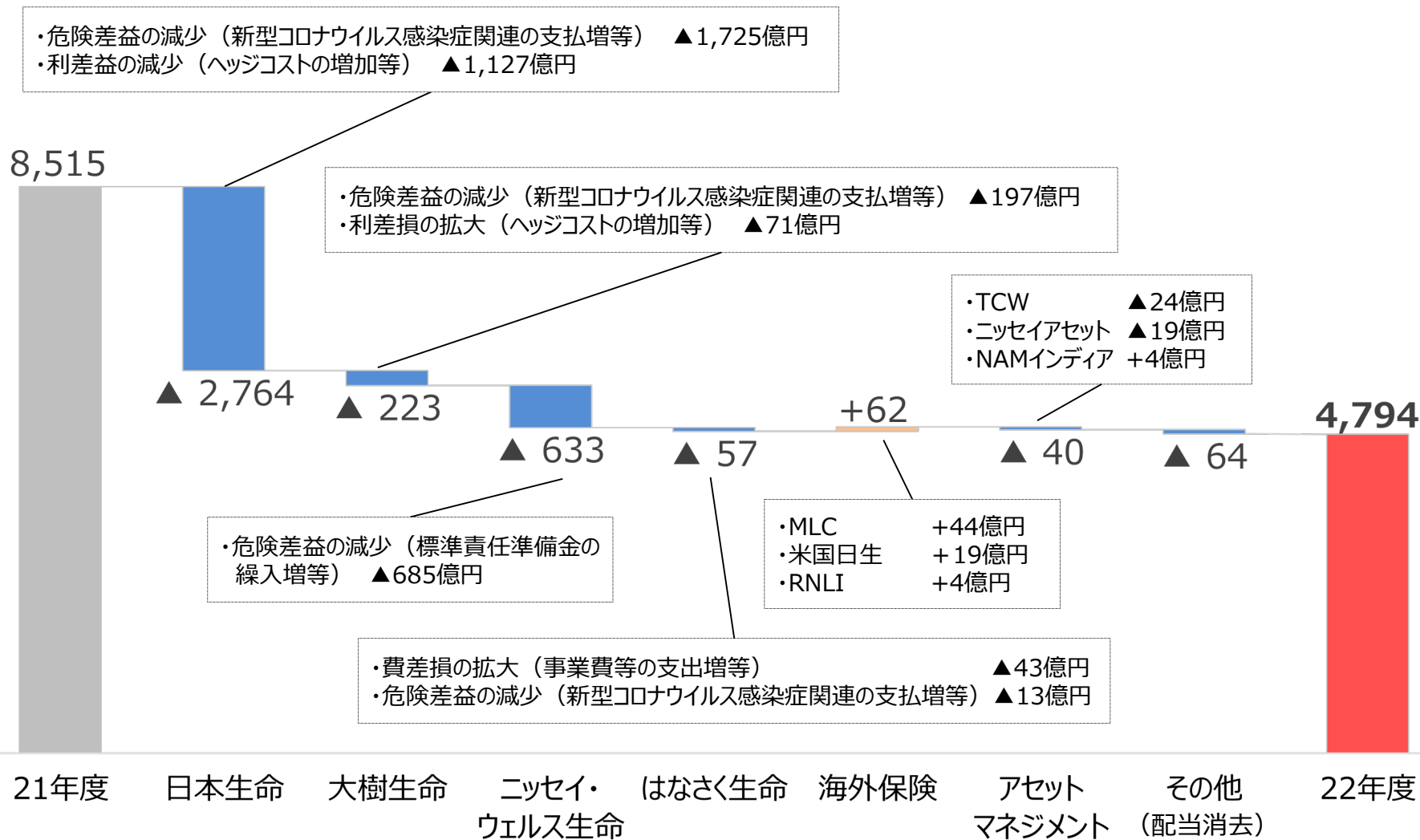
③ 保険料等収入

(単位：億円)



※合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

④ 基礎利益



※合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※【会社名称】ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント、RNLI：リライアンス・ニッポンライフ・インシュアランス、NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント

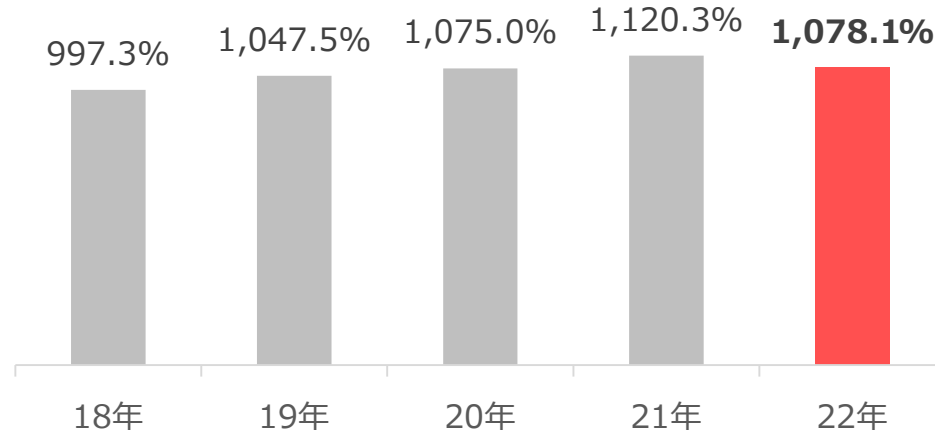
※2022年度より適用された基礎利益の計算方法に基づいて算出

⑤ 健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、
 其他有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で低下。
- 実質純資産は、
 有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で減少。
- 経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR）※
 は、22年度末時点で244%。

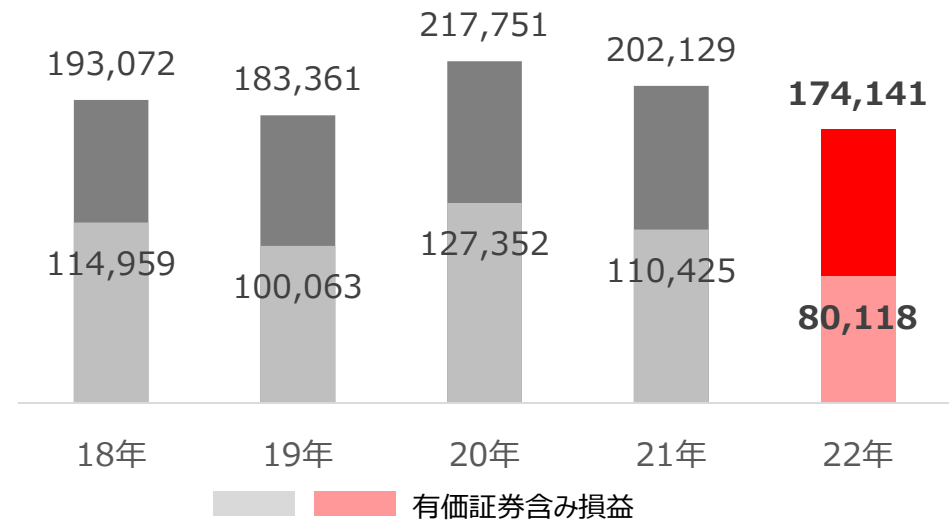
※リスク量に対する資本の十分性を示す健全性指標。
 当社の内部モデルにて算出。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



※有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、
 海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

■ 経常利益・当期純剰余は、対21年度で減少。

(単位：億円)

	2022年度	対21年度
経常収益	96,391	+15.3%
保険料等収入	63,735	+18.3%
資産運用収益	29,921	+11.0%
経常費用	94,967	+21.4%
保険金等支払金	54,708	+18.2%
資産運用費用	13,919	+260.2%
事業費	8,164	+1.7%
その他経常費用*	3,898	+9.2%
経常利益	1,423	▲73.4%
特別損益	▲189	+77.8%
当期純剰余（利益）	1,182	▲65.9%

貸借対照表

■ 総資産・純資産は、対22年3月末で減少。

(単位：億円)

	2023年 3月末	対22年 3月末
総資産	875,946	▲0.9%
うち有価証券	723,328	▲1.4%
うち貸付金	86,364	+2.4%
うち有形固定資産	18,584	▲0.9%
負債	805,436	+0.3%
うち保険契約準備金	713,595	+2.1%
うち責任準備金	699,688	+2.1%
うち価格変動準備金	16,847	+0.0%
純資産	70,510	▲12.4%

* のれん相当額の減損損失等（PT セクイス（セクイス・ライフの持株会社）：73億円、TCW：161億円）を含む

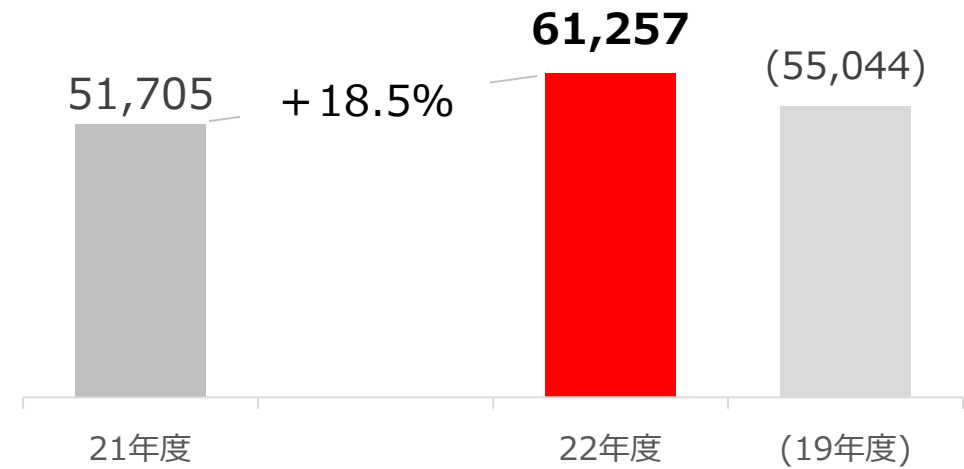
なお、日本生命単体の損益計算書にて、関係会社株式評価損（PT セクイス/セクイス・ライフ：208億円、NLA（TCWの持株会社）：106億円）を特別損失に計上

① 保険料等収入

- 外貨建一時払商品の販売増による銀行窓販・代理店チャンネルの増加、および円建一時払商品の販売増による営業職員チャンネルの増加を主因に対21年度で増収。
- 対19年度についても、銀行窓販・営業職員・代理店チャンネルの増加により増収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2022年度	対21年度	対19年度
保険料等収入（国内計）	61,257	+18.5%	+11.3%
うち個人保険・個人年金保険	44,732	+20.9%	+14.3%
営業職員チャンネル	29,561	+7.8%	+5.2%
代理店チャンネル	5,674	+31.8%	+27.3%
銀行窓販チャンネル	9,495	+79.9%	+44.2%
うち団体保険	2,824	▲0.9%	+1.8%
うち団体年金保険	10,610	▲3.0%	▲5.7%

※日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 個人保険・個人年金保険の年換算保険料は、対21年度で増加も、対19年度では減少。
件数・保障額等は、対21年度・対19年度ともに減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2022年度	対21年度	対19年度	2022年度	対21年度	対19年度	2022年度	対21年度	対19年度
国内計	4,044	+2.6%	▲0.7%	450	▲7.5%	▲14.5%	81,960	▲17.9%	▲14.0%
営業職員チャンネル	1,773	▲21.6%	▲16.2%	410	▲11.0%	▲18.3%	50,866	▲32.1%	▲37.2%
代理店チャンネル	748	+19.8%	+86.5%	25	+27.2%	+71.1%	19,842	+3.0%	+181.2%
銀行窓販チャンネル	1,517	+43.6%	▲2.5%	13	+124.0%	+32.8%	11,048	+96.2%	+50.4%
日本生命	2,354	▲14.0%	▲6.0%	411	▲8.3%	▲17.5%	57,127	▲30.4%	▲32.3%
大樹生命	355	+47.3%	+7.0%	14	▲35.1%	▲24.7%	7,828	+19.8%	▲2.9%
ニッセイ・ウェルス生命	1,227	+38.9%	+2.5%	7	+111.8%	+184.8%	7,517	+107.2%	+175.0%
はなさく生命	106	+35.0%	+176.7%	17	+37.2%	+167.7%	9,486	+25.2%	+9,615.5%

※はなさく生命は2019年第4四半期に保障性商品の販売を開始

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の年換算保険料・件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険は減少、団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2023年 3月末	対22年3月末	2023年 3月末	対22年3月末	2023年 3月末	対22年3月末
国内計	45,944	+0.5%	3,834	+1.1%	1,713,587	▲2.1%
日本生命	37,417	▲0.8%	3,498	+0.8%	1,491,647	▲2.8%
大樹生命	5,065	▲1.0%	254	▲1.8%	165,415	▲4.5%
ニッセイ・ウェルス生命	3,217	+18.3%	41	+15.9%	39,566	+16.1%
はなさく生命	243	+56.8%	39	+59.1%	16,957	+102.5%

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2023年 3月末	対22年3月末	2023年 3月末	対22年3月末
国内計	1,085,652	▲1.2%	186,293	+0.7%
日本生命	975,018	▲0.8%	140,926	+1.4%
大樹生命	110,633	▲4.5%	6,615	▲15.3%

※団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値

団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットの投資顧問残高（30,973億円）および確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分7,766億円）を含む

④ ご契約者配当

- 日本生命および大樹生命における個人保険・個人年金保険について、前年度に引き続きご契約者への配当を実施する方針。

ご契約者配当の方針

日本生命

- 個人保険・個人年金保険について、ご契約者配当を実施
 - 危険差益配当・利差益配当ともに据置き
 - 対象契約：約1,000万件

大樹生命

- 個人保険・個人年金保険について、ご契約者配当を実施
 - 配当水準は据置き
 - 対象契約：約3万件

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2022年度
死亡保険金		3,984件 316.4億円
	災害保険金	607件 36.7億円

■ 給付金のお支払い

		2022年度
入院給付金		1,302,010件 1,811.5億円
	みなし入院	1,252,862件 1,728.0億円

【参考：2021年度実績】

■ 保険金のお支払い

		2021年度
死亡保険金		1,929件 163.6億円
	災害保険金	298件 17.8億円

■ 給付金のお支払い

		2021年度
入院給付金		151,614件 226.8億円
	みなし入院	133,496件 198.7億円

① 2023年度 業績見通し

- 2023年度は、グループ計で前年度から減収・増益を見込む。
- 保険料等収入は、日本生命における団体年金の減少を主因に減収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払減による危険差益の増加を主因に増益。

※業績見通しは、現時点での環境認識に基づくものであり、今後の業績推移や市場動向等に応じて期中で変更の可能性あり。

	保険料等収入		基礎利益	
	2022年度	2023年度 見通し	2022年度	2023年度 見通し
グループ計 (MLC除き)	63,735 (61,651)	減少*2 (約58,000)	4,794 (4,726)	増加*2 (約6,000)
日本生命	46,479	減少	4,988	増加
大樹生命	8,848	減少	173	減少
ニッセイ・ウェルス生命	5,705	増加	▲ 294	増加
はなさく生命	222	増加	▲ 246	減少
MLC	1,840	—*1	75	—*1

*1 豪州において、2023年度よりIFRS第17号に準拠した新会計基準に変更

*2 MLC除きの2022年度実績および2023年度見通しに基づく増減

※保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

※基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

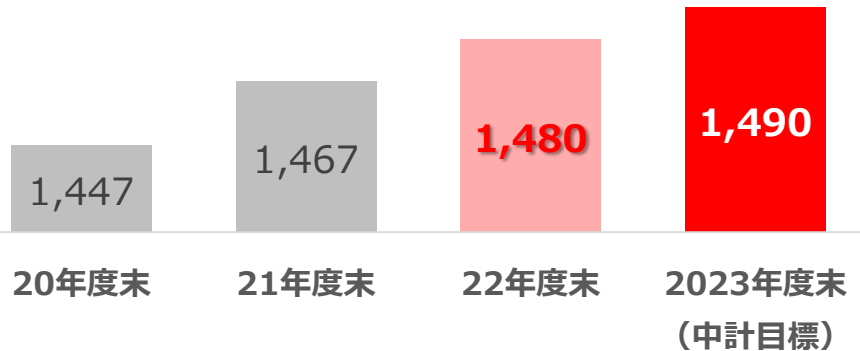
※MLCの保険料等収入は収入保険料。基礎利益は税引前利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

【参考】中期経営計画（2021-2023）における数量目標の進捗状況

- お客様数・保有年換算保険料は、数量目標に対し着実に進捗。
- 基礎利益は、2021年度は目標を超過も、2022年度は新型コロナウイルス感染症関連の支払増を主因に未達。自己資本は増加基調も、同支払増が下押し。

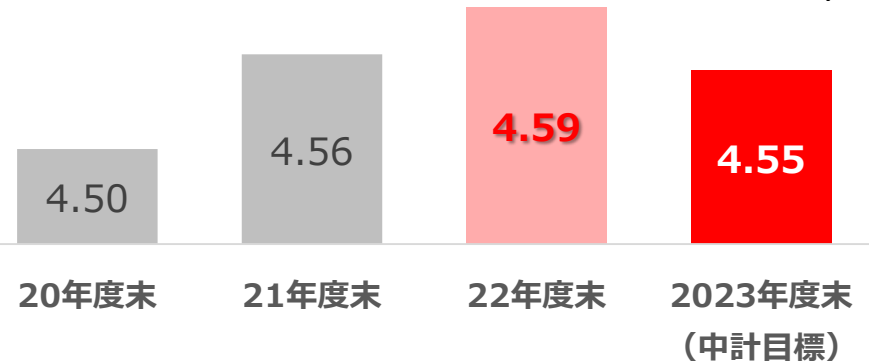
お客様数（国内グループ）

(万名)



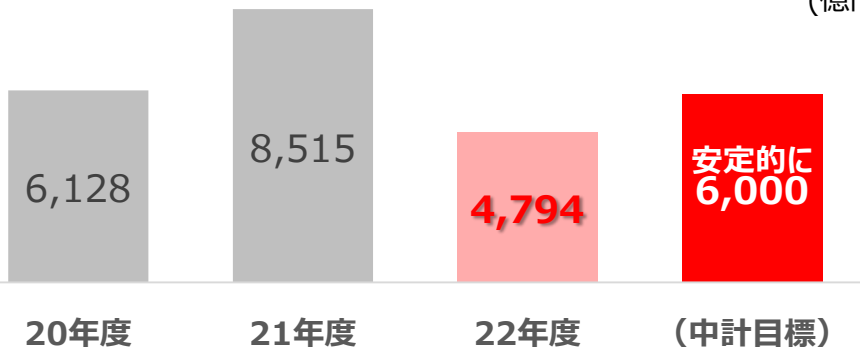
保有年換算保険料（国内グループ）

(兆円)



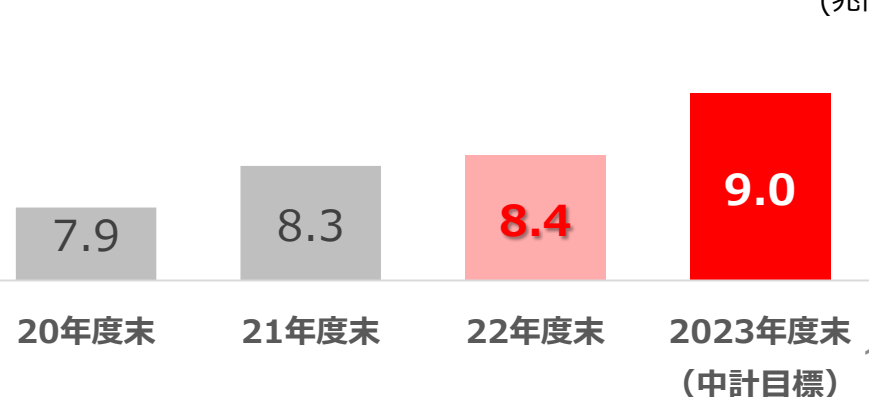
基礎利益（グループ）

(億円)



自己資本（グループ）

(兆円)

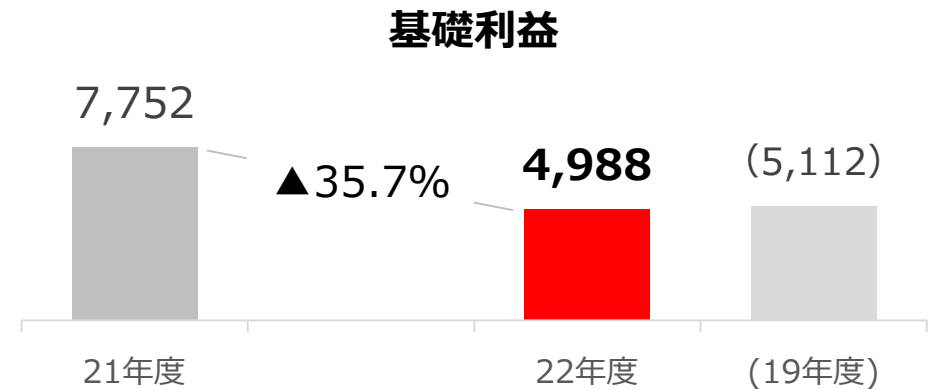
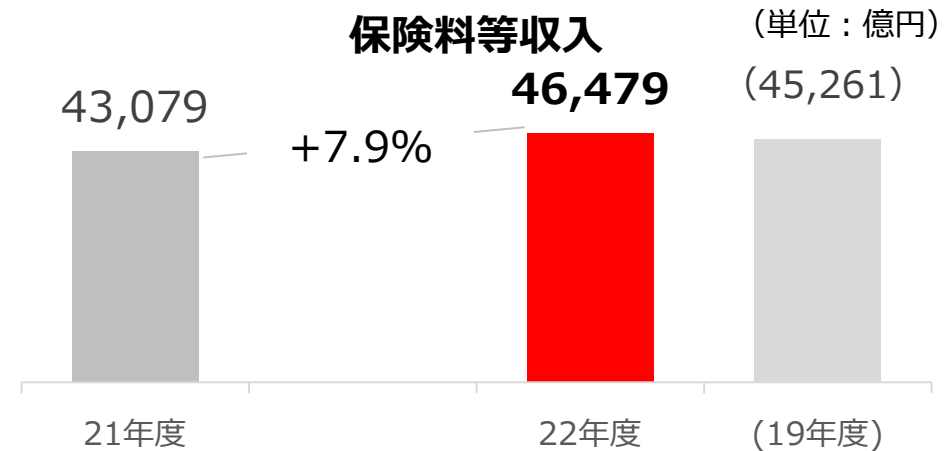


※2022年度より適用された基礎利益の計算方法に基づいて算出

【参考】
グループ各社の概況

【参考】日本生命（単体）：収支

- 対21年度で増収・減益。
- 保険料等収入は、内外金利上昇に伴う一時払商品の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の大幅減少、およびヘッジコスト増加による利差益の減少を主因に減益。



	2022年度	対21年度	対19年度
基礎利益	4,988	▲35.7%	▲2.4%
利差益	2,344	▲32.5%	+176.5%
費差益	452	+24.3%	+60.3%
危険差益	2,191	▲44.0%	▲45.0%

【参考】日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、対21年度で減少。
- 資産運用収益は、利息及び配当金等収入や有価証券売却益の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加を主因に増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

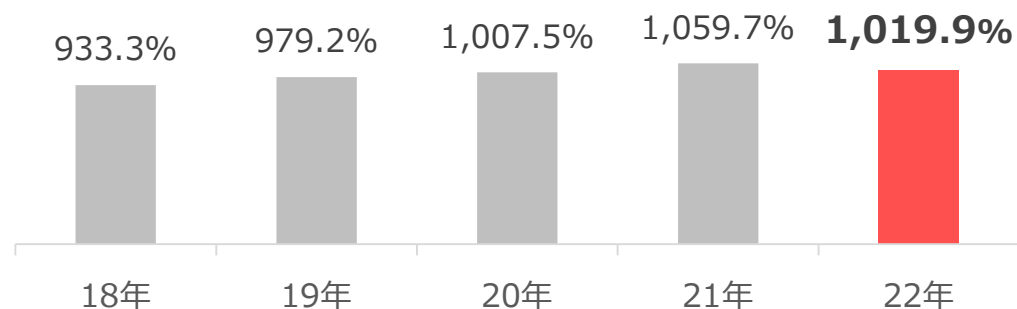
	2022年度	対21年度
資産運用収益	25,948	+5,078
うち利息及び配当金等収入	17,281	+1,907
うち有価証券売却益	8,055	+3,403
うち為替差益	313	▲389
資産運用費用	11,854	+9,292
うち有価証券売却損	8,743	+7,607
うち有価証券評価損	62	▲68
うち金融派生商品費用	1,759	+1,629
資産運用収支	14,093	▲4,213

マーケット状況



【参考】日本生命（単体）：健全性

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

	2023年 3月末	対22年 3月末
有価証券	80,753	▲ 26,035
公社債	7,512	▲ 13,838
国内株式	56,155	▲ 94
外国証券	17,253	▲ 10,869
その他	▲ 167	▲ 1,232

※市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

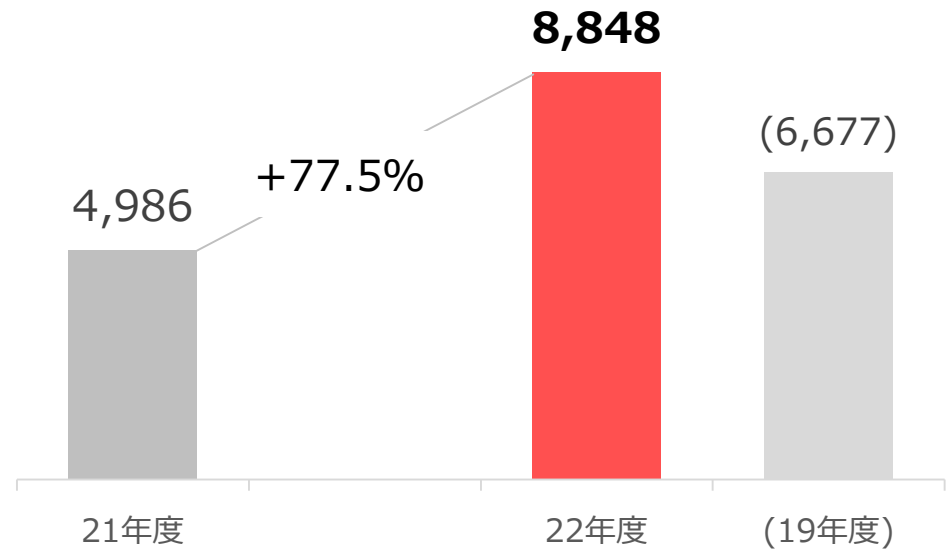
- ソルベンシー・マージン比率は、
 其他有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で低下。
- 有価証券の含み益は、内外金利上昇に
 による国内債券および外国証券の含み益の
 減少を主因に対21年度末で減少。

【参考】大樹生命

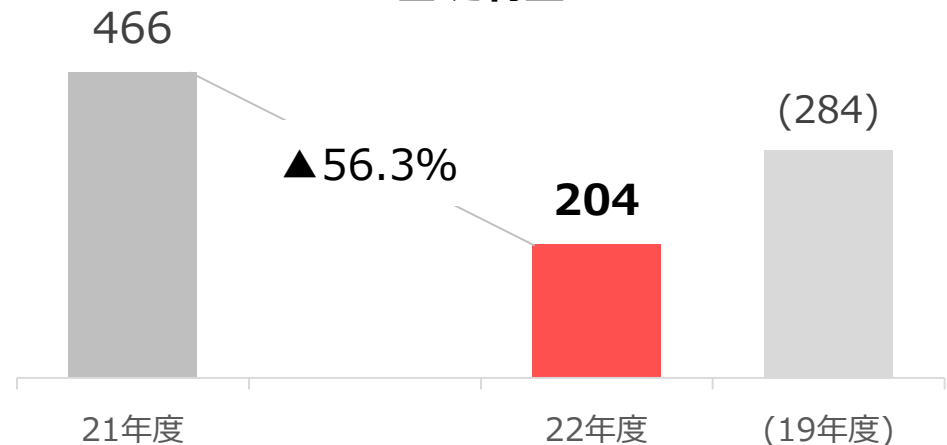
- 対21年度で増収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建一時払商品の販売増や再保険収入の増加により増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の減少、およびヘッジコスト増加による利差損の拡大により減益。

保険料等収入

(単位：億円)



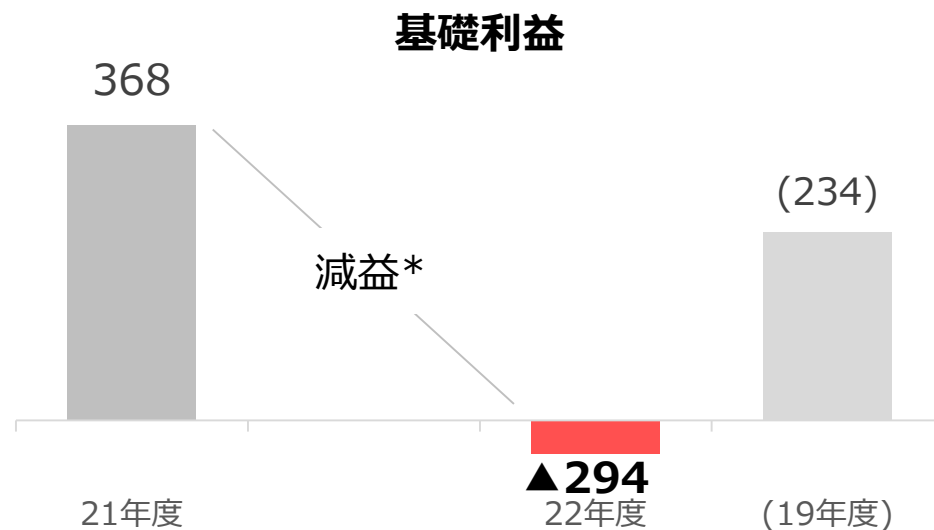
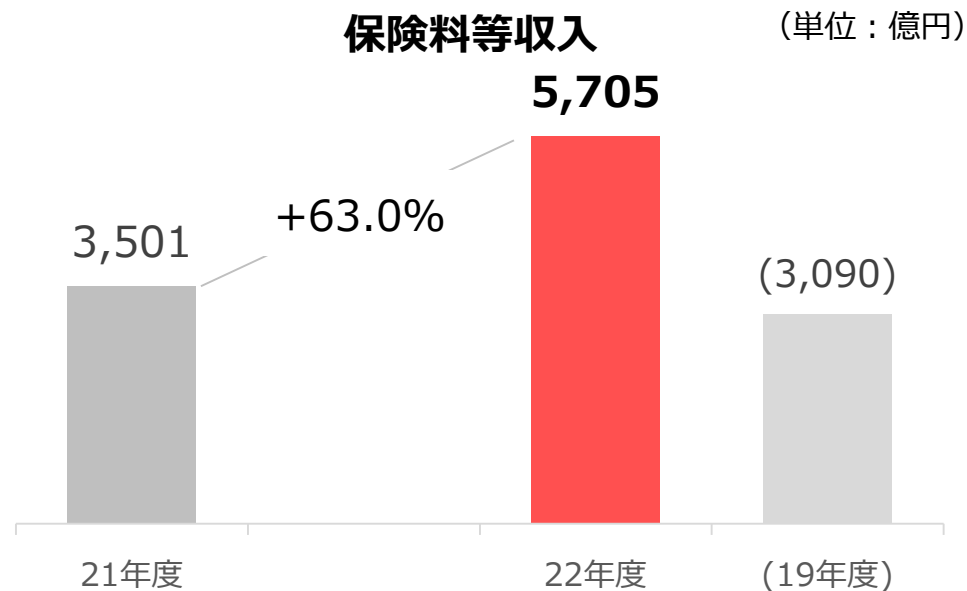
基礎利益



※単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

- 対21年度で増収・減益。
- 保険料等収入は、外貨建一時払商品の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、標準責任準備金の繰入増による危険差益の減少により減益。

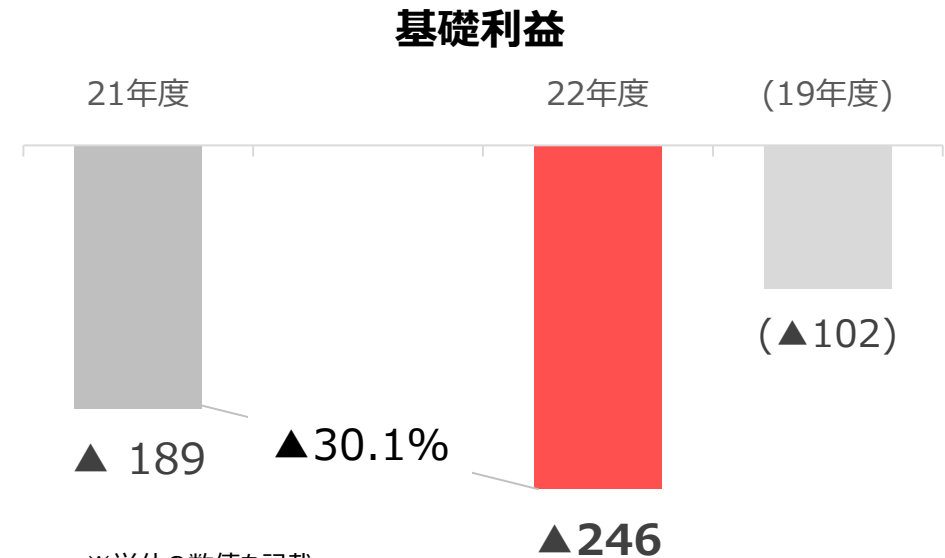
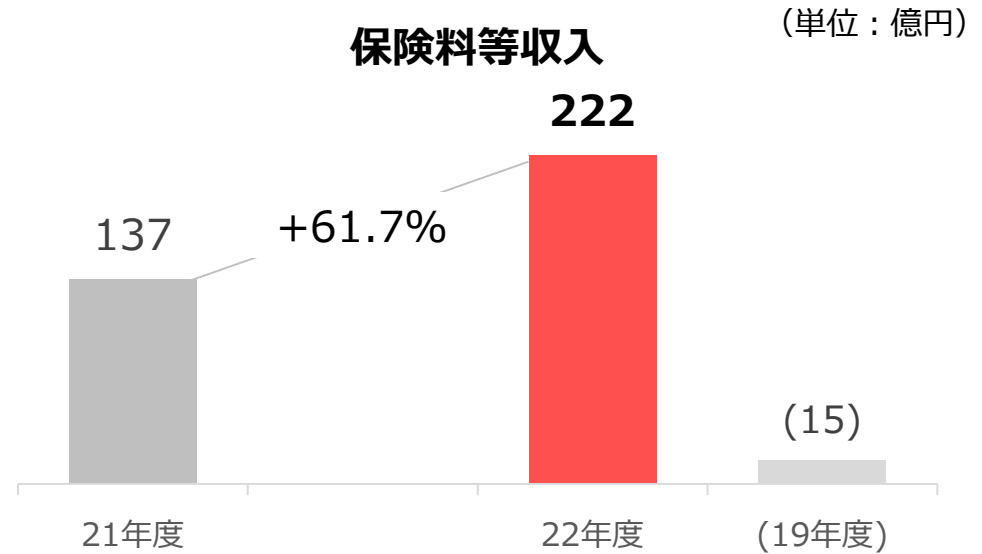


※単体の数値を記載

* 前年度数値がプラス、当年度数値がマイナスにより、減少率算出不可

【参考】 はなさく生命

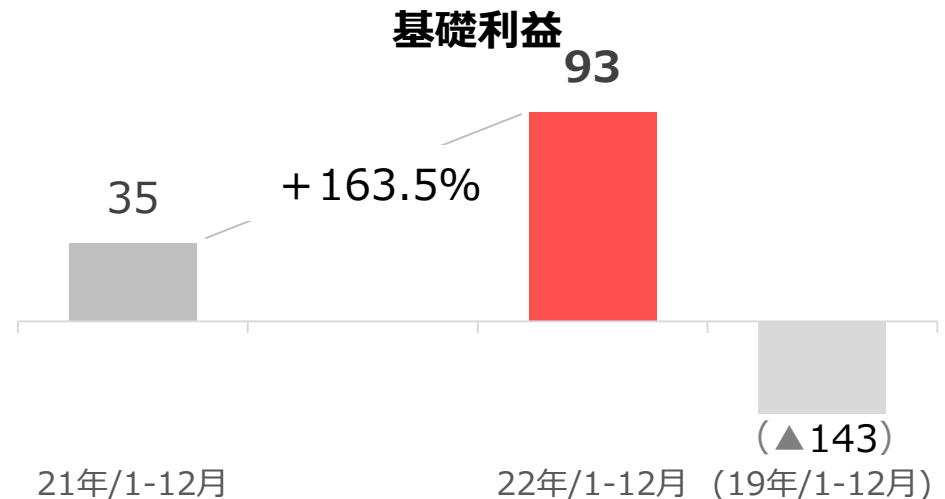
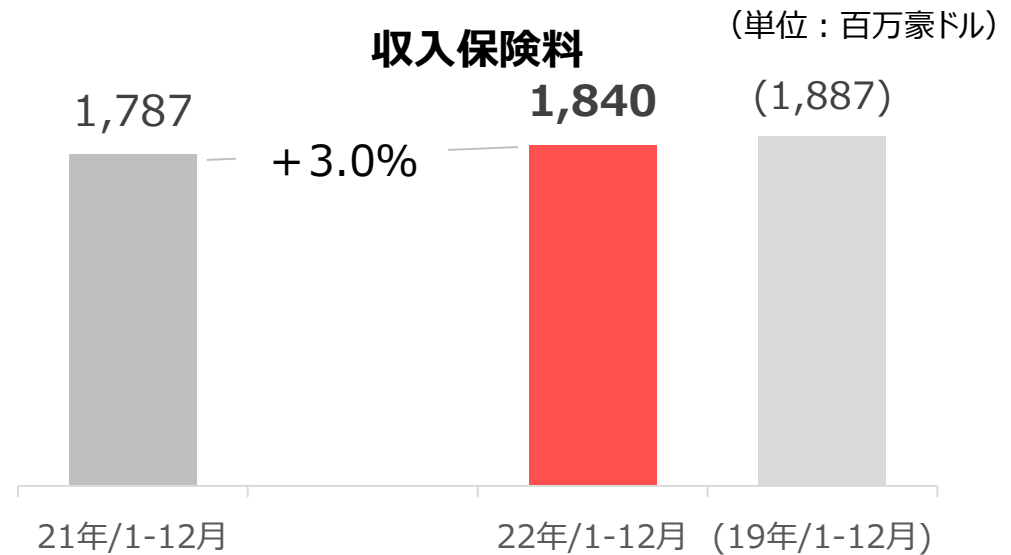
- 対21年度で増収・減益。
- 保険料等収入は、医療保険等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。



※単体の数値を記載

【参考】 MLC

- 対21年1-12月で増収・増益。
- 収入保険料は、個人保険領域および団体保険領域の増加を主因に増収。
- 基礎利益は、団体保険領域の収支改善を主因に増益。



※単体の数値を記載
 ※第4四半期決算では1-12月期を連結反映